

Q Report $\frac{2}{4}$

第71期第2四半期(中間)報告書
(平成29年4月1日~平成29年9月30日)

TOMITA

SINCE 1911

証券コード：8147



株式会社

T E T

株主の皆様へ

株主の皆様におかれては、ますますご清祥のこととご推察申し上げますとともに、平素のご支援に心から厚く御礼申し上げます。

平成30年3月期第2四半期を終了いたしましたのでここに営業の概況ならびに第2四半期決算の状況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の回復や個人消費の回復に助けられ緩やかな景気回復が続きました。

わが国の工作機械業界は、当第2四半期連結累計期間は、国内で需要が増加し前年同期比20.7%増加、海外でも需要が増加し前年同期比42.7%増加、結果、全体の受注額は33.2%増加し8,228億円となりました。

こうした環境下、工作機械を主力取扱商品とする当社グループの受注・売上につきましては海外では減少しましたが国内では増加し、全体では増加となりました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は112億8千4百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益は4億9千8百万円（同19.8%増）、経常利益は5億6千5百万円（同14.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億6千6百万円（同20.2%増）となりました。

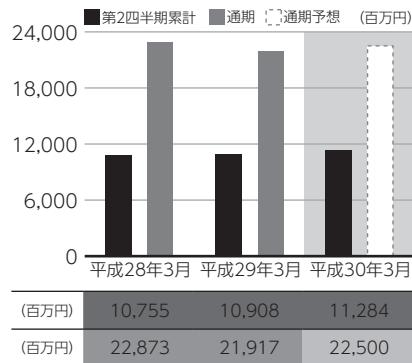
わが国経済は、緩やかな回復が続いております。海外では、米国経済や欧州経済は緩やかな景気回復が続くと予想されますが、中国経済の下振れ懸念など、景気への懸念材料もあります。当社グループは国内においては、引き続き地域密着型営業に注力し、ユーザーの技術部門等への提案営業を行います。一方で、新規取扱商品の拡大も図り、また新規設備投資が活発な業界へのアプローチ強化を継続いたします。海外においては、本年、それぞれ2箇所目の拠点を増設したベトナムとインドでの営業を更に拡大し、日本の製造業の海外生産活動へのサポートを強化し、今後も海外拠点の活動を拡充してまいります。また、海外の地場エンジニアリング会社とタイアップしてのライン等のシステム提供を含め、取扱製品、提案、サービスをより高度なものへと進化させ、グローバルに高度化かつ多様化するお客様のニーズにお応えしてまいります。

株主の皆様には、今後とも変らぬご支援・ご指導を賜りたく衷心よりお願い申し上げます。

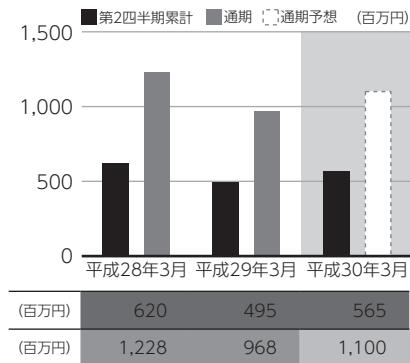


代表取締役社長
富田 薫

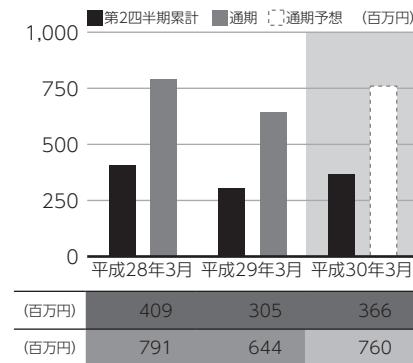
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



■連結貸借対照表 (要旨)

(百万円)

科目	当第2四半期 (平成30年3月期 第2四半期末)	前期 (平成29年3月期末)
資産の部		
流動資産	11,145	11,089
固定資産	3,949	3,832
有形固定資産	1,081	1,090
無形固定資産	11	15
投資その他の資産	2,857	2,726
資産合計	15,095	14,921
負債の部		
流動負債	6,036	6,101
固定負債	1,018	1,044
負債合計	7,054	7,145
純資産の部		
株主資本	6,524	6,291
その他の包括利益累計額	1,354	1,333
非支配株主持分	160	151
純資産合計	8,040	7,775
負債純資産合計	15,095	14,921

■連結損益計算書 (要旨)

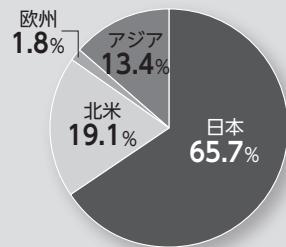
(百万円)

科目	当第2四半期 (平成30年3月期 第2四半期/累計)	前第2四半期 (平成29年3月期 第2四半期/累計)	前期 (平成29年3月期)
売上高	11,284	10,908	21,917
売上原価	9,506	9,246	18,480
売上総利益	1,777	1,661	3,436
販売費及び一般管理費	1,278	1,245	2,612
営業利益	498	416	823
営業外収益	88	99	189
営業外費用	21	20	45
経常利益	565	495	968
特別利益	0	1	2
特別損失	0	0	0
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	565	496	970
法人税、住民税及び事業税	158	164	322
法人税等調整額	32	14	△11
四半期(当期) 純利益	374	317	659
非支配株主に帰属する 四半期(当期) 純利益	7	12	15
親会社株主に帰属する 四半期(当期) 純利益	366	305	644

■1株当たり四半期(当期) 純利益

	■第2四半期累計	■通期	□通期予想
(円)	73.81	54.99	66.07
(円)	142.69	116.10	136.99

平成30年3月期第2四半期 地域別売上構成



＜＜日本＞＞

工作機械の受注・売上が増加し、当第2四半期連結累計期間の売上高は74億9百万円(前年同期比26.6%増)となり、営業利益は2億5千2百万円(同3.8%増)となりました。

＜＜北米＞＞

自動車メーカー関係向けの受注・売上が減少し、当第2四半期連結累計期間の売上高は21億5千6百万円(前年同期比11.3%減)となりましたが、営業利益は1億7千8百万円(同15.4%増)となりました。

＜＜欧州＞＞

自動車メーカー向けの受注・売上が減少し、当第2四半期連結累計期間の売上高は2億円(前年同期比18.7%減)となり、営業損失は1百万円(前年同期は5百万円の営業利益)となりました。

＜＜アジア＞＞

自動車・2輪車メーカー関係向けの受注・売上が減少し、当第2四半期連結累計期間の売上高は15億1千6百万円(前年同期比36.3%減)となりましたが、営業利益は7千8百万円(同105.5%増)となりました。

■株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
株主配当受領 株主確定日	3月31日（中間配当を行う場合9月30日）
定時株主総会	6月中に開催
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店 で行っております。
（郵便物送付先） （お問い合わせ先）	
単元株式数	100株
公告の方法	ホームページに掲載いたします。 URL： http://www.tomitaj.co.jp

（お知らせ）

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 未払配当金のお支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

■会社の概要（平成29年9月30日現在）

商号	株式会社トミタ
創業	明治44年5月1日
設立	昭和18年4月26日
資本金	397,500,000円
事業所	東京都中央区銀座8-3-10
本社事務所	東京都大田区大森中1-18-16 営業統括本部 電話 03 (3765) 1185 (代)
大阪支店	名古屋支店 静岡営業所 栃木営業所
神奈川営業所	北陸営業所 埼玉営業所 茨城営業所
中国営業所	山梨事務所 四国事務所 東北事務所

■役員の状況（平成29年9月30日現在）

代表取締役社長	富田 薫
代表取締役副社長	富田 稔
専務取締役〔海外管掌〕	八柳 方彦
常務取締役〔国内管掌〕	樋口 勝幸
取締役〔総務部長〕	中村 龍二
取締役〔中部・西日本営業部長兼大阪支店長兼名古屋支店長〕	栗田 純夫
取締役〔東日本営業部長〕	樺木 徹
常勤監査役	小川 友明
社外監査役	植元 巽
社外監査役	土師 良一

■関係会社

- 株式会社トミタファミリー
- 株式会社ツールメールクラブ
- TOMITA U.S.A.,INC. (OHIO)
- TOMITA U.S.A.,INC. (ALABAMA)
- TOMITA U.S.A.,INC. (INDIANA)
- TOMITA U.K.,LTD. (OXON)
- TOMITA U.K.,LTD. (DURHAM)
- TOMITA ASIA CO.,LTD. (BANGKOK)
- TOMITA ASIA CO.,LTD. (CHONBURI)
- TOMITA CANADA,INC. (ONTARIO)
- 广州富田貿易有限公司 (GUANGZHOU)
- PT.TOMITA INDONESIA (BEKASI)
- VIETNAM TOMITA CO.,LTD. (HANOI)
- VIETNAM TOMITA CO.,LTD. (HO CHI MINH)
- TOMITA MEXICO,S.DE R.L.DE C.V. (LEON)
- TOMITA MEXICO,S.DE R.L.DE C.V. (QUERETARO)
- TOMITA INDIA PVT.LTD. (GURGAON)
- TOMITA INDIA PVT.LTD. (GUJARAT)

株式会社トミタ

東京都中央区銀座8-3-10